

3月26日：VN指数は反落したが、大型株の上昇により下げ幅は縮小

金曜日のVN指数は反落。大型株の上昇によりVN指数の下げ幅は縮小したが、利益確定売りからマーケットは依然として不安定だった。

ホーチミン市場の主要指標であるVN指数は0.08%安の1,162.21ポイントだった。

同指数は前日0.11%高の1,163.10ポイントで引けていた。

値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回り、339銘柄が下落、122銘柄が上昇した。

出来高は依然として高い水準で、売買高は約6億7,050万株、売買代金は15兆6,000億ドン（6億7,530万米ドル）を超えた。

「本日の取引でVN指数は1,160ポイントの節目を維持した。マーケットは朝方1,137ポイントまで大きく調整したが、午後の取引で1,162.21まですぐに回復した」（BIDV証券）

「このような急速な買戻しは投資家の底値買いを示している。だが、前日比で資金流入額はほとんど変わらなかった。出来高はわずかに減少、短期的な利益確定売りによって値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回った」（同証券会社）

「外国人投資家は両市場（ホーチミン、ハノイ市場）で売り越しに転じた。同指数は1,160ポイントを維持したが、VN指数は来週も引き続き調整する可能性がある」（同証券会社）

外国人投資家はホーチミン市場でヴィエティンバンク（CTG）766億ドン、軍隊商業銀行（MBB）816億ドン、ビンググループ（VIC）、616億ドンなど計2,836億6,000万ドンを売り越した。ハノイ市場でも25億9,000万ドンを売り越した。

「投資家はポートフォリオの35～50%は株式で持ち続けるべきだろう」（同証券会社）

「株式への投資比率の高い投資家は株価回復局面に投資比率を下げることを検討も視野に入れることができる」（同証券会社）

「VN 指数が 1,150～1,155 ポイントの下値支持線に下落した場合、キャッシュポジションを取っている投資家は低い比率ですでに保有している株の買い増しを検討すべきだ」

VN30 指数は 0.22% 高の 1,167.19 ポイントだった。同指数組入銘柄のうち、19 銘柄が上昇、11 銘柄が下落した。

同指数組入銘柄のうち、ビンググループ (VIC)、ホアファットグループ (HPG)、ベトジェット (VJC)、ベカメックス IDC (BCM) の上昇が目立った。

ビンググループ (VHM)、ビナミルク (VNM)、ペトロベトナムガス (GAS)、ビンコムリテール (VRE)、ヴィエティンバンク (CTG) といった大型株は利益確定売りにより下落した。

ハノイ市場では、HNX 指数が 1.41% 高の 270.96 ポイントで取引を終えた。

同指数は前日 0.56% 高の 267.19 ポイントだった。

売買高は 2 億 2,440 万株以上で、売買代金は 3 兆 5,000 億ドンだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。